個別避難行動計画

令和　年　月　日作成

建築主

所在地

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象地の最大浸水深 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 浸水深 | （垂直避難の目安） | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | □　0.5m未満 | →　　1階へ避難可能 |
| 　 | 　 | □　0.5m～3m未満 | →　　2階以上へ避難可能 |
| 　 | □　3m～5m未満 | →　　3階以上へ避難可能 |
| 　 | 　 | □　5m以上 | →　　安全な場所へ避難 |

１　計画の目的

この計画は、当所在地に居住する者が、洪水時の円滑かつ迅速な避難行動することを目的とする。

　また、作成した避難行動計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、定期的に確認を行い、洪水に関する知識を深めるとともに、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

２　計画の適用範囲

　⑴　当所在地に居住する全ての者をいう。

　　　　居住人数　人

　　　　　うち　高齢者　人

　　　　　うち　障害者　人

　　　　　その他　　人

他に特筆すべきこと

３　防災体制

防災体制を注視し、和光市防災ガイド＆ハザードマップ等を活用し、避難生活グッズを確認する。

また、※和光市版マイ・タイムラインを作成し、水害時の行動計画について居住者内で確認を行う。

　※　和光市防災ガイド＆ハザードマップP.23～P.24参照

４　情報収集

　⑴　気象情報

　⑵　洪水予報、河川の水位情報

　⑶　避難指示

５　避難場所　移動距離及び手段

　⑴　避難場所

　⑵　移動距離及び手段

**※　避難場所までの避難経路設定にあたっては、和光市防災ガイド＆ハザードマップP.19～P.20の土砂災害ハザードマップを参照し、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を考慮してください。**